

今回こそは晴天をお願いします。 8月13日 朝3時が、見頃です！！

大流星の出現が期待できる『ペルセウス座流星群』

今年5月のみずがめ座流星群は観測条件が悪く、期待したスーパームーンの皆既月食は曇りで見るができずに残念でした。しかし、8月は、晴天が続くこと多いので、夏の「ペルセウス座流星群」には期待できます。ちょっと台風の動きが気にはなりますが、10日ごろには過ぎててくれると思います。

今回は、お月さまに関しても新月（8月8日）を過ぎたばかりで、月は細く、しかも月の出が朝方で、月の入りは夕方となり、夜には地平線には沈んでしまうので月もなく、暗い夜空になります。街灯などが無い場所ならば最適ですね。緊急事態宣言中なのですが、地方に行っていれば、なお良い条件ですね。

国立天文台によると、11日の夜から13日の夜までが流星を多く見られ、12日の夜に最も多くの流星が出現しそうです。夜の9時ごろから流れるようになり、予想では一番流れるのは13日の朝3時頃で、条件の良い場所（空や街が暗い地方）なら1時間に50個は見られそうです。

ペルセウス座付近に輻射点（流星が流れ始める場所）があり、この星座付近から放射状に流れますので、寝っ転がって、北極星より東側、北東の空を眺めていると見やすいですね。



詳しい紹介は、下の①～⑤の国立天文台 HP をご覧ください。

①ほしぞら情報 2021年8月「ペルセウス座流星群が極大」

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2021/08-topics02.html>

②流星群の観測方法

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/obs-meteor-shower.html>

【ペルセウス座流星群】

この流星群の母彗星は130年周期で太陽を公転する「スウィフト・タートル彗星」で冬の「ふたご座流星群」などと合わせて三大流星群と呼ばれています。ペルセウス座は秋の星座で、片手にメデューサ（見た者を石に変える怪物）の首を持つ勇者ペルセウスの姿です。仲間と怪物退治の旅に出て、その途中で海の怪物食べられそうになっていたアンドロメダ姫を助けるなどの冒険をする話です。映画やテレビのない大昔の人は、夜空を見上げながらこんな物語を語ったのかもしれませんがね。興味がわいたらギリシャ神話の本を読むと面白いかもしれませんね。

③「ペルセウス座流星群とは」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/perseid.html>

④「流星群とは」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/meteor-shower.html>

⑤「主な流星群」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/major-meteor-shower.html>

■関連する授業《3年理科 単元4 地球と宇宙》の動画

⑥太陽系の誕生 NHK for School クリップ

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401862_00000&p=box

■8月の星空の紹介動画

⑦2021年8月の星空情報（国立天文台）

<https://www.nao.ac.jp/news/blog/2021/20210802-astro.html>

